



便り

10年前と変わったと思うこと

日本人の平均寿命が世界2位となった。10年前に比べ、それぞれが1歳以上延び、女性87歳、男性80歳。が、65歳の5人に1人が認知症になるやも…。心身ともに健康であることが望ましいのにいたずらに寿命が延びたことを喜んではいけない。(名華女)

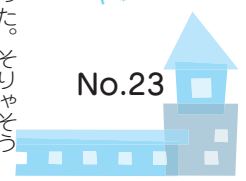
10年前と変わったと思う事は、私の場合、医学の進歩が素晴らしいということ。お陰で仕事に行くようにして通った週3日の通院から解放されました。この解放感を作ってくださった皆さんに感謝です。ありがとうございます。(GOLFマン)

うーん、自分の意識かな？いろいろな事柄が受容できるようになった。性差、弱者に対する理解、子育ての変化に対する考え方など。これは、この会に所属し、多方面のイベント企画を通して学んできたため積み上げられたと思う。この後もよい方向に変わっていききたい。(17才)

世の中を見てみると、首長、議員に若い人が増えた。女性の管理職も増えた。我が事に目を向けると、10年前の私は次の旅先を何処が良いかなあ〜とワクワクしながら探していた。今は「終の住処」は何処が良いかなあ〜と肩間にしわ寄せして探してる。(すみちゃん)



No.23



△ハモン博士のまとめ

10年前と比べると、世の中は着実に進歩をし、色々な場面でポーターレス化が進んでいるようじゃ。しかし、場面や状況によっては、どこかで線を引かなければならないことがある。その線によって分けられる人が納得していれば「区別」、納得していなければ「差別」と感じるんじゃないかの。「差別」のない社会の実現は、人類-永遠のテーマじゃ。実現はなかなか難しいが、みんなが「良い」と感じる社会になっていくとよいの。



問合せ

おおぐち男女共同参画懇話会(地域振興課)
☎95-1691

休日に子どもとプラプラしていると、同じような「父親と子ども」という組み合わせをよく見かける。小学生くらいならまだしも、1歳から3歳の子どもと父親だけっていうのは、以前はあまり見かけなかった気がするなあ。(俺)

女性の「初」が少なくなった。そりゃそうだ、「初めて」は段々減る。そして当たり前になっていく。だが、未だに「女性の〇〇」という表現は多用されている。そして上手いかないと「だから女は…」となる。あれっ？結局、男女で分ける状況は変わっていないってこと。(チャーミー)

Be Ambitious

vol.278

町内にお住まいの 20代の皆さんがリレーで登場!

管理栄養士めざして

片山 澄香さん(河北) H8・5・29生



目標に向け楽しく勉強中!

管理栄養学科の3年生。再来年の国家試験をめざして勉強中です。かわいがっているいとこの男の子が、小麦と卵と牛乳のアレルギー持ちだったのが管理栄養士を目指したきっかけ。ハンバーグやケーキなど、子どもの好きな食べ物アレルギーのために食べられない子のために、除去食を勉強して役に立ちたいと思います。

学校では、「臨床栄養学」の先生が素晴らしい先生で、尊敬しています。大学の非常勤講師と病院の管理栄養士をかねもちされている先生で、病院ではとても患者思い。食事療法を勉強する臨床栄養学以外にも患者さんのためにNS

T(栄養サポートチーム)やアロマテラピーの資格を取り、驚くほど意欲的。先生の影響で自分もアロマテラピーの勉強を始めました。これが意外に楽しく、勉強するのが息抜きになっています。

趣味はジャズダンス

高3まで9年間ジャズダンスを習い、Kベリーズとしてやる舞い大祭にも出演。高校のときは週1回の練習以外にも家で自主練習するほど打ち込んでいました。母とは友達のようになんでも話せ、相談できる間柄。自主練習も、夜、家の前で小さく音楽をかけて母に厳しいダメ出しをしてもらいながら頑張りました(笑)。



▲高校の友人と昭和村にて